

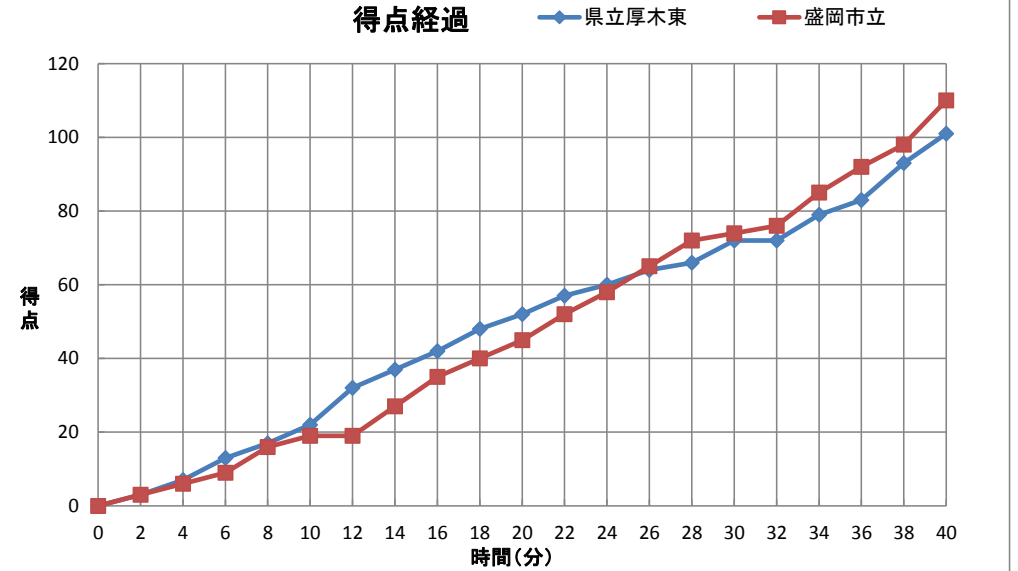


平成27年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技大会
第68回全国高等学校バスケットボール選手権大会

個人トータル表

男 子							平成27年7月30日		15:00 開始				
2 回戦							島津アリーナ		C				
県立厚木東 101							221st19 302nd26 203rd29 294th36		110		◎ 盛岡市立		
(神奈川県)									(岩手県)				
番号	氏 名	得点	3P	2P	FT	反則	番号	氏 名	得点	3P	2P	FT	反則
* 4	富樫 颯人	35	1	15	2	4	* 4	千葉 高生	30	3	9	3	3
* 5	濱 裕之介	4	0	1	2	5	* 5	平賀 一輝	29	4	7	3	1
6	平島 文太	6	2	0	0	3	* 6	山崎 格之	16	2	3	4	1
* 7	望月 大地	36	3	13	1	1	7	工藤 海斗	6	2	0	0	0
8	中澤 龍	8	2	1	0	3	8	笠原 良介	-	-	-	-	-
* 9	越馬 彪斗	8	0	2	4	4	9	吉岡 幹夫	-	-	-	-	-
10	宍戸 宏規	0	0	0	0	0	* 10	岩井 勇人	22	3	4	5	2
* 11	向後 博基	4	0	2	0	4	* 11	渡辺 海生	7	0	3	1	3
12	奥山 喜理人	0	0	0	0	0	12	櫻田 陽	-	-	-	-	-
13	佐野 龍之介	-	-	-	-	-	13	炭釜 諒	-	-	-	-	-
14	東野 恒紀	-	-	-	-	-	14	釜石 裕斗	-	-	-	-	-
15	菊池 允	-	-	-	-	-	15	中村 陸生	-	-	-	-	-
コーチ	永田 雅嗣郎					0	コーチ	室岡 茂彰					0
Aコーチ	久保 光弘						Aコーチ	伊藤 晃					
合 計		101	8	34	9	24	合 計		110	14	26	16	10
主審: 野口 浩正													
副審: 那須 弘幸													

得点経過



CTO	1・2P		3・4P			OT1	OT2	OT3	OT4
TeamA	14:33	:	25:24	33:16	34:59	:	:	:	:
TeamB	11:17	13:05	39:24	:	:	:	:	:	:

〔 戦 評 〕

厚木東はオールコートマンツーマンディフェンス、盛岡市立はハーフコートマンツーマンディフェンスを基本に、2-2-1のゾーンプレスを交えながら守る。

第1P、厚木東#7のバスケットカウントでスタート。カットインでスペースを作りながらの展開、#6のスペースをとらえた的確なパスでワンパス速攻を決めるなど、走るバスケットでゴールを狙う。対する盛岡市立は#10の勢いのあるボール運び、#6、#11のダブルポストを基点に展開し、厚木東3点リードで終了。

第2P、厚木東は出だしから2本連続で#7のドライブが決まる。その後もオールコートで激しくプレッシャーをかけることで立て続けに速攻が決まり、盛岡市立はたまたずタイムアウトを請求。盛岡市立はタイムアウト後、#4が3Pシュートをきっちり決め、流れを掴みたいところであったが厚木東のディフェンスが激しく、52対45の厚木東7点リードで前半終了。

第3P、リードを保ちたい厚木東は#9をハイポストに置き、ディフェンスの意識を中に持たせながら速いパス回しで展開していく。対する逆転を狙う盛岡市立は積極的にインターセプトを狙うことで速攻を量産し、残り5分、ついに厚木東をとらえる。その後は両者一歩も譲らず、シーソーゲームとなり、盛岡市立2点リードで終了。

第4P、厚木東は盛岡市立の勢いを止めたいところだが、ファウルに悩まされる。開始3分で#5のファウルアウトなどで流れをつかむことができない。何とか得点を取るために、#7を中心にゴールを狙うが盛岡市立の勢いが止められない。101対110の9点差で盛岡市立が3回戦にコマを進めた。

出だしから多くのファウルがコールされた。この試合の基準に対応できるかどうかは勝敗の分かれ目の一つになったのではないだろうか。ここで1本ほしいという時の厚木東の#7のオールラウンドなプレイ、控えておりながらコートに立った時にきっちり役割を果たす#6の姿に感動した。また、盛岡市立の強気なチームディフェンスでもぎ取った勝利を次の戦いでも見せてほしい。両チームの健闘を心から賞賛したい。

戦評: 村井 咲栄

記録: 南陽高校